

2022-23 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1495 回 (3)

会 長 笹 田 博 之 幹 事 内 山 春 夫

クラブ会長テーマ



「想像力を高めて変化に対応、社会に貢献」

日 時	2022 年 7 月 19 日 (火) 19:00 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 それでこそロータリー 」 ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照) 会長報告 幹事報告 出席報告 S A A 報告 スマイル報告 プログラム情報 その他報告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



IMAGINE
ROTARY

【 会 長 報 告 】

本日の1495回例会プログラムはクラブフォーラム(五大奉仕)です。会員の皆さますでにご存じのようになんと言ってもロータリー五大奉仕はロータリー活動の基幹をなしています。この五大奉仕部門について改めて過去のロータリーの友に掲載された概要を述べさせて頂きたいと思います。

(クラブ奉仕) クラブの機能充実の為、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。

(職業奉仕) 事業及び専門職務の道徳的水準を高め、品位ある職務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わるなかで奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割りにはロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるためにクラブが開発したプロジェクトに応える。

(社会奉仕) クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるためにときには他と協力しながら会員が行うさまざまな取り組みからなるものである。

(国際奉仕) 書物や通信を通じて、さらには他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動や習慣、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって国際理解、親善、平和を推進するために会員が行う活動からなるものである。

(青少年奉仕) 指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて青少年ならびに若者によって好ましい変化がもたらされることを認識する。

というロータリー五大奉仕の理念、概略が述べられています。

当福山西ロータリークラブの各奉仕部門におきまして本年度活動計画内容が本年度活動計画書に予定されており、それぞれの部門が時にはフレキシブルに連携をはかりながら着実に実行に移されますことを願っております。本日これより開催されますプログラム、クラブフォーラム(五大奉仕)を通じてこの一年間当クラブにとって実り多き奉仕活動がなされる様に西クラブ皆さまとともに議論を深めでまいりたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。

【プログラム情報】

《クラブフォーラム（五大奉仕）》



【クラブ運営委員会・・・委員長 尾熊 孝典】

クラブ管理運営委員会の主な役割は、傘下の会員増強委員会、ロータリー情報委員会、親睦委員会、広報委員会、例会委員会の連携をより強化し、クラブ運営が効果的になされるよう各委員会の活動をサポートすることです。

特に、わがクラブが直面している最重要課題である会員増強を計画通り実現するためには、わがクラブは、会員同士の親睦をより深め、例会プログラムをより充実させ、広報活動も積極的に行い、新入会員が入会したくなるような魅力あるクラブに変わっていかねばなりません。また、折角入会してもロータリーの良さがわかることなく退会していきたくないよう、新入会員に対する確かなロータリーの情報を提供しなければならないとも考えています。

この一年間、各委員会と協力してわがクラブが魅力あるクラブとなるよう努力してまいりますので、皆さん方からの、要望、提案などあれば遠慮なく声をかけていただきたく思っています。よろしくお願いいたします。

【会員増強委員会・・・委員長 吉山 聡】

本年度の会員増強委員会のメンバーは、委員長の私と副委員長の河村さんの2名のみの委員会ですが、河村さんと相談しながら、そして会員の皆様に協力を仰ぎながら、会員増強につながる活動をしていきたいと思っております。まずは、8月2日の例会は会員増強のフォーラムとなっておりますので、しっかりと本年度の会員増強の進め方の基盤をお話しさせていただきたいと思っております。

今年度の終盤に行なわれる「増強貢献会員表彰」には、一人でも多くの方が表彰されるよう頑張っています。よろしくお願いいたします。



【ロータリー情報委員会・・・委員長 梶原 啓子】

ロータリー情報委員長としての活動計画をお話しします。石岡さんという最強の副委員長とともに、有意義な形でロータリーの知識や情報を深めていきたいと思えます。特に初めての女性 RI 会長ということなので、その特性をお伝え出来たらうれしいです。

「ロータリーの友」誌の毎月の紹介は数名の方にもご協力をいただきながら、進めたいと思っております。よろしくお願いいたします。委員会行事はゲスト卓話をお願いしたいと思います。講師は検討中です。新入会員をぜひお迎えして、記憶に残る入会式をしたと思っております。ここからは、「新会員セミナー」「会員セミナー」については 皆様のご意見を聞かせていただきたいと思います。当日のご意見 ・基礎知識(専門用語、歴史、財団 etc.)

- ・ RC 参加の目的意識、RC 在籍の原点
- ・ RC についてのテスト
- ・ 思い出に残るセミナー
- ・ 対面のセミナー、飲み会付きは？

皆様から多くのご意見をいただきました。時間の都合上まだ執行部のメンバーと数名のご意見が聴けませんでした。後日個別にお話を聞かせていただきます。そのご意見をもとに石岡副委員長とともに時期と内容を決めたいと思います。ご協力の程よろしく願いいたします。

【親睦委員会・・・委員長 藤井 啓之】

親睦委員長の藤井啓之です。本年度の親睦のテーマは、多くのご家族の方に参加をしていただき多くの親睦を深め、ロータリー奉仕活動に活かすこと。です。

早速、9月には、鹿内さんのお寺にて月見例会が開催されます。早めの告知をしますので、1人でも多くの参加をお願いします。

一年間、よろしく願いいたします。

【広報委員会・・・委員長 竹中 雅彦】

本日は同じ時間帯で獣医師会の総会がニューキャッスルホテルで行われるため欠席させていただきます。また総会終了後には財団の理事会が21:00から開催され駆け足で往復する状況です。

ロータリークラブの広報は、ロータリークラブが世界的な奉仕団体であることと五大奉仕活動の内容を社会に広報することでロータリークラブへの理解を広め浸透させることが最終的な目的となります。またクラブではクラブ内の連絡と親睦のツールとして例会情報とホームページがあります。これらを有効にそして活性化させるのは委員会だけではなく皆様の協力が必要です。どうぞよろしく願いいたします。



【例会委員会・・・委員長 佐藤 教夫】

本年度は特に会員卓話やゲスト卓話を多く取り入れてまいりたいと考えています。

最近は少しずつ新会員も増えてきています。会員同士がどのような職業で何をしている方なのかを知る事が大事と考えます。それと同時に、何か印象に残る例会を心掛けたいと思います。

「ロータリーの友」誌にはユニークな例会の記事が載る事もありますので、これらを参考にするのと同時に、皆様にも面白いアイデアがありましたら是非聞かせて頂けたらと思います。

また本年度の例会は41回の予定ですが、今のところ9回が未定となっておりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。



【奉仕プロジェクト委員会委員会・・・委員長 瀬尾 義裕】

本年度会長エレクトを拝命している瀬尾義裕です。会長エレクトとして奉仕プロジェクト委員会の委員長を務めることとなります。関係各委員会の活動が円滑に行えるよう調整に努めて参ります。本日は関係各委員会に忌憚のないご意見をお願い致します。



【職業奉仕委員会・・・委員長 鹿内 要秀】

2022-23 年度 国際ロータリー第 2710 地区職業奉仕委員会
基本方針

- ① ロータリアンの原点である職業奉仕の理念の再確認(崇高な職業倫理の啓発)
- ② 職業スキルを活かした奉仕活動の実施の推奨
- ③ ロータリアンの行動規範の啓発

① ロータリアンの原点である職業奉仕の理念の再確認(崇高な職業倫理の啓発)

四つのテストの唱和（奇数月）

奉仕とは思いやり・・・滅私奉公では無い

決議 23-34 によってロータリーの奉仕理念は、超我の奉仕であると規定され、さらに奉仕の理想とは他人のことを思いやり、他人のために役立とうとすることであると定義されています。

これを職業奉仕にあてはめると、職業奉仕とは「自分の職業の本分を全うすること」になると思います。

自分の仕事の本分を確認する為にあるのが四つのテストですから、唱和するときは自分の職業の仕事内容をイメージしながら唱えればより効果的だと思います。

- 1, (し) 真実かどうか
 - 2, (み) みんなに公平か
 - 3, (こ) 好意と友情を深めるか
 - 4, (み) みんなのためになるかどうか
- 「しみこみ」と覚えましょう。

② 職業スキルを活かした奉仕活動の実施の推奨

(職場例会・卓話など)

- 1, 今年度は宇田信士会員の会社を訪問して職業の理解を深めます。
- 2, 森山仏商常務取締役：森山信弘様に例会にお越し頂いて葬祭業界の現状をお話し頂きます。

③ ロータリアンの行動規範の啓発

ロータリアンの行動規範の唱和（偶数月）

ロータリークラブは、会員が自らの職業を正しく行い、業界全体の倫理的水準を向上させ、ひいては地域社会の発展を成し遂げようという、職業を通しての奉仕、「職業奉仕」を行うことが、他の奉仕団体にはない特徴です。

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。



【社会奉仕委員会・・・委員長 松井 宣久】

今年度の活動計画は、会長の要望事項に出来るだけ沿って策定しました。

実施計画は、

- 1 グリーンライン「ロータリークラブ奉仕の森」整備
 - 2 資源回収
 - 3 チャリティー例会
 - 4 障がい者支援
- であります。

「奉仕の森」整備について

(目的)

- ・どの季節でも楽しめる場所にして、もっと来訪者を増やしたい。
- ・我がクラブの会員・家族も楽しめる場所にしたい。

(現状)

- ・看板の設置後、来訪者は増えてはいると思うが、最後の看板（遊歩道の曲がり道にある看板）からでは、歩道も暗く広場の様子がわからないため躊躇する人もあると思われる。
- ・桜、水仙、彼岸花の時期以外は花が無く、魅力に欠ける。

(整備案)

- ・最後の看板（遊歩道の曲がり道にある看板）に「案内のコメント」「奉仕の森のイラスト」を追加する。
- ・奉仕の森までの坂道に土留め柵を施工し、併せて「ツツジ」を植える。
- ・四季折々に花が咲く、あるいは秋に紅葉する樹木を植える。

予算の関係上、今年度ですべてをするわけにはいかないので、今年度は、四季折々に花が咲く、あるいは秋に紅葉する樹木を植えることにしました。

樹木の選定はいま丸山さんにいくらか案を出してもらおうようお願いしています。

資源回収、チャリティー例会は前年度同様に行います。できるだけ多くの商品、廃品等の提供をお願いします。

さらに青少年奉仕委員会と連携して、知的障がい者の就労支援の活動も計画しています。以上です。ご協力よろしくお願いいたします。



【国際奉仕委員会・・・委員長 北 治郎】

福山西 RC「定款第 5 条—4」

国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の
人々を助けることを

目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力すること
を通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認
識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会
員が行う活動から成るものである。

本年度「外国人留学生の支援」について

先週、前国際奉仕委員長の竹中さんと「支援する会」の徳永会長にお会いし、引継ぎを行いました。その話の中で徳永会長より、食糧支援は非常に有難く感謝しているがそれとは別に、留学生にはタイムリー（季節ごと等）なニーズがあることをお聞きしました。

そこで、本年度の支援は、「外国人留学生支援募金」と称して毎例会時に会員の皆様に募金をしていただき、それを約 1 か月ごとまとめ、その時の留学生のニーズを確認しそれに対応した物資を購入し、そして届ける。という形をとりたいと思います。

【毎月 3 回から 4 回の例会で、会員一人 1 回につき 300～500 円を募金箱に入れていただきます。そうすると約一か月で 4 万円前後になると思います。このお金を資金にします】

会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



【青少年奉仕委員会・・・委員長 能登 伸一】

今年度強く推進したいことは「知的障害者の就労支援」です。具体的には支援学校に通う高校生の人役に立ちたいという純粋な気持ちに
応えようとするものです。今年度、多額の予算計上を認めて頂いてタブレット 10 台を贈ることにしていました。梶原さんが個人的に支援される 10 台と併せて 20 台が早く準備が出来ましたので先日 15 日に会長、幹事そして梶原さんと私の 4 名で学校に伺ってお渡ししてきました。生徒も数人いて校長先生をはじめ学校の方々が大変喜ばれていました。

前年度、ロータリー奉仕デーとして授業参観から始まったこの支援事業は笹田会長が今年度掲げられている重点方針の一つにもなっていますので改めまして今後とも皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

今回お贈りしたタブレットですが、学校側としてはさらに20台を強く望まれています。私としては第一回目のクラブ協議会で助言を頂いた通り、地区の補助金を活用してこの要望に応えようと思っておりますが皆様のご意見を伺いたいと思っております。

認められたらその計画の進捗状況をこまめに理事会等で報告するとともに皆様の納得が得られることを条件に速やかに準備を進めたいと思います。

「知的障害者の就労支援」としてこうした物的支援もとても意義あることではありますが、本来は生徒たちに就職先の選択肢が増えることが一番の支援となります。そしてそれは全てが「支援」ということではなく彼ら一人ひとりの性格、特性を活かせば皆さんの会社で活躍できる生徒もいることも理解して頂いた上で11月の授業参観に臨んでいただきたいと思います。

委員会として問題だと思っていることとして前年度から始まったこども図書館への本寄贈についてです。これまでは集められた本を竹中さんが送料を個人負担で送っておられますがクラブの負担にすべきではないかと思っておりますのでこれは理事会に諮りたいと考えています。

以上よろしくお願ひいたします。

【ロータリー財団・米山記念奨学会委員会・・・委員長 下平 靖孝】

今年度のロータリー財団・米山奨学委員会の活動は、ロータリー財団と米山奨学会の地区目標に向けて頑張ることはともかく両委員会ともロータリー財団では、ポールハリスフェロー・米山記念奨学会の方では、米山功労者にもう少して寄付達成できそうな人にはその趣旨の説明をしますし、新しく会員の人にもできるだけ寄付をお願いしていこうと思っております。

10月の米山月間には、米山記念奨学会のことを理解してもらうために10月4日に米山奨学生で台湾出身の林孟甫（リン モウフ）さんに卓話をお願いしています。

11月の財団月間にはロータリー財団関係者の福山東ロータリークラブの川本晏聖さんに卓話をお願いしています。

内容は、1月29日の財団勉強会でも説明があり又5月の地区研修・協議会でも説明がありましたが、財団の重点目標が6つから7つになったし補助金のシェアシステムも変更点があるのでそのあたりを説明してもらう予定にしています。

【その他報告】

《各種表彰等》

【誕生日】



《7月19日生まれ》藤井 啓之 さん
《7月20日生まれ》辰川 自光 さん
《7月22日生まれ》鹿内 要秀 さん

【皆出席】



《皆出席通算18年 塩川 裕樹 さん》

《第1495回例会 BGM♪》

・佐藤教夫さん選曲

『カーペンターズ大全集』